HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	研究会報・編集後記
Citation	独語独文学研究年報, 40, 54-57
Issue Date	2014-03
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/54971
Type	other
File Information	kenkyukaihou_v40.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

研　究　会　報

講義題目（2013 年度）

［学部］

ドイツ語学概論	ドイツ語の構造とその背景 13	清水　　誠
ドイツ語学演習 I	ドイツ語学の基礎知識 13	清水　　誠
ドイツ語学演習 II	ドイツ語学文献読解 I :13	清水　　誠
ドイツ語学演習 II	ドイツ語学文献読解 II :13	清水　　誠
ドイツ文学史概説	文学史記述の諸問題	山田　貞三
ドイツ文学演習 I	ドイツ文学入門 13	山田　貞三
ドイツ文学演習 II	ドイツ文学研究 13	山田　貞三
ドイツ文学演習 I	掌編・短編を読む	藤本　純子
ドイツ語学	Grammatik lernen und lehren I: 13	Matthias Grünewald
ドイツ語学	Grammatik lernen und lehren II: 13	Matthias Grünewald
ドイツ語学	Grundwissen zur deutschsprachigen Literatur I: 13	Matthias Grünewald
ドイツ語学	Grundwissen zur deutschsprachigen Literatur II: 13	Matthias Grünewald
ドイツ文学演習 I	Basisstrukturen der deutschen Grammatik I: 13	Matthias Grünewald
ドイツ文学演習 I	Basisstrukturen der deutschen Grammatik II: 13	Matthias Grünewald
ドイツ文学演習 II	Ausgewählte Schriften der deutschsprachigen Literatur I: 13	Matthias Grünewald
ドイツ文学演習 II	Ausgewählte Schriften der deutschsprachigen Literatur II: 13	Matthias Grünewald
ドイツ文学	Einblicke, Eindrücke und neue Ideen 1-2013	Gabriele Christ-Kagoshima
ドイツ文学	Eindlicke, Eindrücke und neue Ideen 2-2013	Gabriele Christ-Kagoshima

［大学院］

ドイツ語学ゲルマン語学特別演習	ゲルマン語学の諸問題 13	清水　　誠
ドイツ語学ゲルマン語学特別演習	ドイツ語学の諸問題 13	清水　　誠
言語分析論特別演習	歴史比較言語学研究 13	清水　　誠
ドイツ文学特別演習	Germanistik und Kulturwissenschaft 13-1	山田　貞三
ドイツ文学特別演習	Germanistik und Kulturwissenschaft 13-2	山田　貞三
ドイツ語ドイツ文学特殊講義	Landeskunde D-A-CH I: 13	Matthias Grünewald
ドイツ語ドイツ文学特殊講義	Landeskunde D-A-CH II: 13	Matthias Grünewald

研 究 会 行 事 記 録

1. 2013 年 2 月 14 日、北海道大学文学部 W205 号室（新棟 2 階）において 2012 年度卒業論文・修士論文発表会が行われた。

2. 2013 年 7 月 5 日、北海道大学ドイツ語学・文学研究会総会において幹事選出等が行われた。

2012 年度　　独語独文関係の論文題目

卒 業 論 文

大　西　ふみか:　　日本語とドイツ語の指示詞の用法について
加　納　知　実:　　ドイツ語における身体部位名詞を用いた痛みの表現の考察
村　中　志　帆:　　教育劇の可能性に関する一考察
柳　澤　　拓:　　Der Tod in Venedig / La morte a Venezia　トーマス・マンとヴィスコンティ　二つの「ヴェニスに死す」

修 士 論 文

大　木　祐　一:　　ヘルタ・ミュラーの文学における余所者

北海道大学ドイツ語学・文学研究会会則

1. 本会は北海道大学ドイツ語学・文学研究会と称する。
2. 本会はドイツ語学・文学の発展に寄与することを目的とする。
3. 本会は上の目的達成のため、下記の事業を行なう。
   1) 機関誌「独語独文学研究年報」を毎年 1 回発行する。
   2) 合評会、研究会、講演会等を随時行なう。
4. 本会会員は北海道大学大学院文学研究科、独語独文学関係の教官、院生ならびにその趣旨に賛同するものによって構成される。
5. 本会会員は上の活動の遂行のため、年会費 5 千円（一般会員）もしくは 2 千円（学生会員）を払う。
6. 本会は 1 名の会長と若干名の幹事をおく。幹事は会計および編集委員を兼任する。
7. 本会の会計年度は毎年 4 月 1 日に始まり 3 月 31 日をもって終わる。
8. 本会の事務局は北海道大学大学院文学研究科におく。
9. 本会に賛助会員をおく。

論文執筆要項

1. 論文審査
   1）本誌は論文の掲載に関して審査を行う。
   2）論文の採否は審査委員が決定する。その際、原稿への加筆、修正などを求めることがある。
   採否の結果は、編集委員会が投稿者に通知する。
   3）審査委員は、編集委員会から委嘱を受けた本会所属の教員数名がその任にあたる。

2. 原稿執筆規定

執筆申し込み	：	執筆希望者は、各年度の 6 月に行われる総会の前日までに、その旨を編集委員会に申請すること。
ページ数	：	20 ページ程度。1 ページの文字数・行数は任意。ただし 35〜37 行程度が望ましい。
原稿の大きさ	：	A4。
論文題目	：	原稿 1 ページ目の最上段中央に、太字またはゴシックで多少大きめに記載する。2 行にわたっても構わない。 また、提出の際にドイツ語または他の欧文による題目を記載すること。
注釈・文献	：	注釈は脚注または奥付けとする。注釈番号はアラビア数字で右括弧付き。
執筆者氏名	：	原稿 1 ページ目の 3 行目（題目との間に 1 行あけること）、太字またはゴシックで右端に記載する。
身分の明記	：	原稿末に丸括弧つきで、右寄りで所属機関・職名を明記する。
締め切り	：	10 月 31 日。

会 員 名 簿

※青 柳 謙 二	阿 部 和 夫	石 原 次 郎	岩 井 　 洋
岩 田 　 聡	※植 木 迪 子	梅 津 　 真	岡 田 江 里
※川 島 淳 夫	岸 川 良 蔵	岸 本 明 子	北 原 寛 子
熊 坂 　 亮	佐 藤 修 子	佐 藤 俊 一	○山 藤 　 顕
塩 谷 幸 子	清 水 　 誠	神 　 久 聡	杉 浦 康 則
鈴 木 将 史	高 橋 　 修	高 橋 希 衣	田 中 　 剛
対 馬 　 晃	寺 田 龍 男	戸 松 　 豊	中 村 　 寿
中 祢 勝 美	名 執 純 子	名 執 基 樹	西 川 智 之
○西 出 佳 代	野 尻 知 子	藤 本 純 子	○本 多 竜 二
丸 山 絢 子	前 原 真 吾	三 浦 國 泰	森 田 一 平
◎山 田 貞 三	山 田 善 久		

◎は会長　　○は幹事　　※は名誉賛助会員

編集後記

レフェリー制を導入して 13 年目となりました。掲載論文は厳正な審査を受けた論文です。ご多忙中、快くレフェリーを引き受けてくださった方には、この場を借りて深く感謝申し上げます。

編集委員一同